

# 相模人形芝居 下中座 だより

## 表紙写真

菅原伝授手習鑑 寺子屋の段(前)より  
松王(まつおう)

菅丞相に仕える白太夫の三つ子の次男。藤原時平の舎人。

我が子と見せかけ菅秀才を養育していた武部源蔵に菅秀才の首を討ち差し出すよう命じる。

衣装は雪持松と鷹の柄の大変豪華なもの。杖代わりに大型の刀を持っている。

## 人形の横顔

菅原伝授手習鑑 寺子屋の段(奥)より

昭和女子大学歴史文化学科

伝統芸能実習リポート(続)

日本民家園公演リポート

横浜市立下田小学校体験学習リポート

座員紹介 数珠つなぎ

下中座紹介

お知らせ

「令和七年度第53回相模人形芝居大会」

小竹の歳時記

座員募集のお知らせ

編集後記

令和八年 新春号  
第十三巻



## 人形の横顔

すがわらでんじゆてならいかのみ  
菅原伝授手習鑑  
寺子屋の段(奥)より松王の巻

### 松王②

カシラ分類…文七  
ぶんしち

塗り…白

機構…フキ眉アオチ・寄り目・横目左右

うなずき…小猿式  
こさるしき

髪型…油付き櫛洗い鬢百日切藁  
あぶらつきくしあらいびんひやくにちぎりわら  
しうはがたえはんごし

衣装…白羽二重半腰  
しろはふたえはんごし

白精好袴  
しろせいこうかみしも

### 松王①

カシラ分類…文七  
ぶんしち

塗り…白

機構…フキ眉アオチ・寄り目・横目左右

うなずき…小猿式  
こさるしき

髪型…油付き櫛洗い鬢百日切藁  
あぶらつきくしあらいびんひやくにちぎりわら  
くろはがたえはんごし

衣装…黒羽二重半腰 黒ぶつさき羽織 鉄色野袴

解説・  
林美穂子 顧問



## 菅原伝授手習鑑 松王のこと

『菅原伝授手習鑑』では、松王、梅王、桜丸の三つ子の兄弟が多くの段で出てきます。

場面ごとに髪型も衣装も違っていて、それも見る者の楽しみです。

『寺子屋の段』では3回様変わりします。

最初は『寺子屋の段(前)』で時平の家来として登場します。病氣療養中という設定です。派手な雪持ち松の衣装に身を包み、髪には病鉢巻をまき、力紙を指しています。ちなみに表紙を飾っているのが、その松王です。

次に、源蔵夫婦に真相を話しに訪れます。時平の家来に見つからないよう、地味な旅装束に身を固め、忍び頭巾をかぶって登場します。

最後は、「菅秀才(実は我が子 小太郎)」の野辺送りに着る白装束です。

場面によって変わる衣装もお楽しみください。

## 公演 リポート

十月十三日  
川崎市立日本民家園公演  
菅原伝授手習鑑  
寺子屋の段(奥)

10月13日、2年ぶりに日本民家園・土藤家住宅で公演をしました。演目は『菅原伝授手習鑑 寺子屋の段(奥)』。古民家という特別な空間で、人形たちが息づく一日でした。公演の数日前に台風の予報があり、危ぶまれたお天気でしたが、当日は晴れて気持ちの良い一日となりました。

生田緑地の豊かな自然に抱かれた民家園。舞台となる「土藤家住宅」は、江戸時代に建てられた茅葺の曲がり家です。ゆつたりと流れる土藤家の時間に、土佐子師匠の音合わせの三味線が響き渡ると、時をさかのぼったような錯覚を覚えます。

準備の時、白くなっていた松王の髪を林前座長がドライヤーと油で黒くなおしてくださったので松王は少し若返ることができた感じに。そして、リハーサルを終え開場。私個人としては舞台の低さへの対応など反省点もあったものの、座員一同で頑張つて、無事に公演を終えることができたと思っています。

公演後には、お見送りと共に髪結い、パフォーマンスも披露。『伊達娘恋緋鹿子』のお七の髪を結い

上げてさばくと、観客から歓声が上がリ、人形の写真を撮ってもらったり、お話ししたりお客様と交流も楽しめました。今回私は特訓をして髪結いに挑戦しています。さばくという目標は達成しましたが、もう少しきれいに結えたらなあという思いが残っています。練習あるのみですね。

すべての公演が終わり、日中も暗い土藤家での片付けは小さいものが紛れてしまいそうで細心の注意が必要でしたが、荷物の搬入は後援会の方たちと近くに住む座員にお願ひし無事に会場を後に。皆さん、いつも本当にありがとうございます。文・長嶋緑





## 伝統芸能実習 レポート

八月四日～六日

### 昭和女子大学歴史文化学科 伝統芸能実習

前号から引き続き、昭和女子大学歴史文化学科の伝統芸能実習でのインタビューをご紹介します。今号では田中さくら助手、大谷津早苗教授です。

#### 「田中さくら 助手」

私は6年前、大学1年生の時にこの伝統芸能実習を受けました。当時は足遣いを担当していたけど、左遣いにも興味がありました。ちょうどコロナ禍前の実習だったので大学で出来た実習としてはとても印象に残っていました。今回改めて助手という立場でこの実習と向き合ってみて、もつととうまく人形を遣えたなとか、やってみたことがあったなとか当時を振り返りながら反省しつつ、でもやっぱりこういった機会はいいな、楽しかったなと思いました。

#### 「大谷津 早苗 教授」

大学では近世文学を勉強していて、中でも人形浄瑠璃作者近松門左衛門の作品に魅かれ卒論を書きました。高校教師を経て大学院に進み、そこで神奈川県文化財保護審議会委員で神奈川県民俗芸能保存協会会長でもあった後藤淑先生の教えを受けました。後藤先生の助言もあって首（カシラ）の研究をすることになり、ご紹介いただいたのが下中座です。岸忠義三代目座長、林美禰子四代目座長にはたいへんお世話になりました。

首の研究を進めるにあたって、人形の实物が手元にあったほうがいいと思い、

道具を揃え始めました。研究目的で揃え始めましたがやはり体験が大事だと思い、学生向けに「伝統芸能実習」という授業を作りました。三人遣いはまさに「阿吽の呼吸」で、この日本的な文化を体験してもらいたかったのです。下中座は若い人たちが中心的なポジションにいます。とても良いことだと思いますが、その若い人たちが今後、何を考えて何を目指すのかがすごく大事だと思います。新たな試みも期待しています。が、古典は大事にして欲しい。そこを捨てると単に創作集団になつてしまうので。文化財である自覚を持って欲しいです。過去を確認しつつ今後を見据えていつて欲しいですね。

聞き手と文・倉橋知温

## 小学校 体験学習 レポート

### 七月十四日 横浜市立 下田小学校

7月14日、横浜市港北区にある横浜市立下田小学校で相模人形芝居体験学習を行いました。対象は4年生全員の120名で、まずその人数の多さと元気に圧倒されました。学習の最初は、音楽室でのDVD視聴。相模人形芝居について、下中座の歴史と今、人形の構造と遣い方など難しい内容かと思われました



文・齊藤秀子

が、必死にメモを取る児童の姿が印象的でした。次の、姫の人形解説と千代と万寿の羽根つきの実演には、皆興味深々の様子。ところどころ歓声をあげながら見入っていました。「姫の膝はどうやって作っていると思う？」の質問に、「人間の手」との声が返ってきたときは、とつてもびっくり。後で、児童たちが事前に伽羅先代萩政岡忠義の段の動画を見ていたことを知りました。そして最後は、人形ふれあいタイムです。6つのグループに分かれて、みんなに人形を持ってもらいました。まず「首を持つてみたい人」と声をかけると、「持ちたい、持ちたい」の嵐。名前順にしたり、じゃんけんしたり、順番を決めるのに苦労しましたが、やりたい気持ちと一生懸命に大感激でした。

後日いただいた、児童からの「がんばって続けてください」「応援します」の感想は、下中座へのエールですね。ありがとうございます。

## 座員 数珠つなぎ 座員紹介



坂井弘美さんが  
紹介する人は

### 小池洋子さん

☞ 下中座の「母」としても  
欠かせない存在



☞ 若い座員には人生について教えてくれたり…。しかし堅苦しさがない小池さん

小池洋子さんは、以前に大病を患われたそうです。病が完治した後、自分に誇れるものはなにかあるか模索していた時、ふと目に留まったのが某銀行が発行していた地方情報誌。そこに紹介されていた当時の下中座座長の笑顔に惹かれ、ためらうことなく下中座を訪ね、その場で入座したとのこと。以来、28年座員として活動しています。

彼女はおしやれで、手芸が趣味とのことなので、人形の衣装の補修や、カシラや手足を入れる袋物などを作ってもらっています。ある時、新しい演目でお祝いのご馳走が必要になり、皆思案中に暮れていたところ、煮しめや卵焼き、鯛の姿焼き、お赤飯等3段重に詰めたご馳走を作ってきてくれ、一同感嘆したものでした。

また、気配りも良いので、公演時には来賓の方々やお師匠さん達の応対をお願いしています。座員に対しても、お弁当の手配や練習時のお茶の用意等細やかに気を遣ってくれています。

下中座に入って良かったことは、公演を通じて沢山の人と出会えたことであり、これからは人のお役に立てるような人でありたいと語ります。

小池さん、いつまでも元気です！これからもよろしくお願いします。





## 相模人形芝居下中座について

小田原市小竹地区に江戸時代から小竹の人形として親しまれてきた、三人遣いの人形芝居の一座です。国の重要無形民俗文化財に指定されています。

現在の座員は各地から集まり、年齢層は十代から八十代と幅広く、男女もほぼ半々。学校や職種もさまざまな集団で、練習ははじめに集中する一方、ミーティングは和気あいあいとしていて、めりはりのある魅力的な集まりです。

稽古は、原則として月二回土曜日、夏は涼しい「橘タウンセンターこゆるぎ」で、それ以外は「小竹公民館」で行っています。

自慢は美しい人形たち。古典の継承を大切にし、加えて新作の上演も積極的にを行っています。また、後継者育成にも力を入れ、地元の小、中、高校のクラブで指導し、そこから座員になっている人も少なくありません。

小学校などへの体験学習にも出かけています。

一つの芝居をみんなで作り上げる楽しさを味わいながら、皆さんにより素敵な芝居をお届けできるよう、これからも励んでいます。



文・早野里美

## 小竹の歳時記 ―冬―

### 目ひとつ小僧

子どもの頃、祖母や父母から聞いた話。

師走八日の夕暮れには、目ひとつ小僧がやってくる、子どもをさらったり、外に置いてある履き物を持って行ったりする。目ひとつ小僧は、目がたくさんあるものを怖がるので、玄関先に目籠を置くことと入ってこない。

日暮れが早く寒さが増すこの時期、子ども心に、本当にそのようなものがいるのではという心地になったものです。玄関先には、大きな背負い籠や収穫用の丸い竹籠をかぶせて置きました。

その頃の田の字型の農家の住宅は、縁側から出入りすることも多く、そこに下駄やズックを置いたままにすることもありました。

暗くなる前に家に帰る、履き物は上がり框の前にそろえて置くなどの教訓でもあったのですが、師走の声を聞くとその頃の住まいや暮らしとともに思い出されます。



文・岸敏江

## 座員募集のお知らせ

個性豊かで気持ちの良い仲間と共に1つの舞台を作り上げていく楽しさを、あなたも味わってみませんか？何の制限もありません。思い立ったら是非下記までご連絡を！お待ちしております。また、公演やワークショップなどのご依頼も承っています。

連絡先メールアドレス：  
newsletter@shimonaka-za.jp



若手座員の誕生日パーティーでの一コマ

**第53回 相模人形芝居大会**

令和8年2月15日(日)  
開演12時 終演14時  
観覧料 大人1000円 小学生500円  
入場無料 要事前申込み

会場：南足柄市文化会館大ホール  
(愛称：金太郎みらいホール)  
(南足柄市関本415-1)

出演・演目：  
〔林座〕 艶容女舞衣 酒屋の段  
〔下中座〕 相模人形芝居教室  
〔前鳥座〕 鎌倉三代記 三浦別れの段  
〔下中座〕 菅原伝授手習鑑  
寺子屋の段(奥)  
〔長谷座〕 伽羅先代萩  
政治忠義の段  
〔足柄座〕 伊達娘恋緋鹿子  
火の見櫓の段

入場料：無料(要事前申込)  
お問い合わせ：  
0465-7318062  
(相模人形芝居連合会事務局)

申込方法と詳細：  
下記サイトまたは左のQRコードから  
情報ページに入りご覧ください。

南足柄市の情報ページ  
<https://www.city.minamiashihara.kanagawa.jp/kurashi/manabi/bunka/p03349.html>



## お知らせ

### 第53回 相模人形芝居大会

日時：令和8年2月15日(日)

△開場 12時00分

△開演 12時30分

△終演 16時30分(予定)

会場：南足柄市文化会館大ホール

(愛称：金太郎みらいホール)

(南足柄市関本415-1)

### 出演・演目

〔林座〕 艶容女舞衣 酒屋の段

〔下中座〕 相模人形芝居教室

〔前鳥座〕 鎌倉三代記 三浦別れの段

〔下中座〕 菅原伝授手習鑑

寺子屋の段(奥)

〔長谷座〕 伽羅先代萩

政治忠義の段

〔足柄座〕 伊達娘恋緋鹿子

火の見櫓の段

入場料：無料(要事前申込)

お問い合わせ：  
0465-7318062

(相模人形芝居連合会事務局)

申込方法と詳細：  
下記サイトまたは左のQRコードから

情報ページに入りご覧ください。

南足柄市の情報ページ

<https://www.city.minamiashihara.kanagawa.jp/kurashi/manabi/bunka/p03349.html>

## 編・集・後・記

「子ども歳時記」では、生演奏に合わせての「二人禿」ににかむろで、生徒たちが舞っていました。サポートする私たちも幸せでした。浄瑠璃のお三方はじめ、関わった皆様に感謝です。

ありがたいございました。(H)

なんやかんやであつたという間に二年が経ち、今年も振り返ってみると様々なことがありました。来年はどうなっているかはわかりませんが、なんとなく生きていこうと思っています。(C)

横浜の小学校の出張授業に行ってきました。帰りにちょうど今日(12月8日)が目つ小僧の日という話になりました。昔の人はこういう事を通じて賢く季節に合せて生活をしていただろうなと想像するとワクワクしました。(N)

子どもたちのエネルギーはすごいんです。その熱源は何でしょう。好奇心？何でも面白がる気持ち？とてもない若さでしょうか。また、体験学習に行きたいです。(HS)

小学校の体験学習や子ども歳時記などで楽しく人形に触れている子供達を見ると、嬉しくなります。大きくなくても、その楽しさを忘れずに、興味を持ち続けてくれるといいのですが。(S)

## 相模人形芝居 下中座だより

令和8年 新春号(通算第13号)

令和8年1月1日発行

発行・編集人：佐藤 光昭(下中座 座長)  
ホームページ <http://www.shimonaka-za.jp>  
メールアドレス [newsletter@shimonaka-za.jp](mailto:newsletter@shimonaka-za.jp)  
活動拠点：神奈川県小田原市小竹

デザイン：上條 祐嗣